



30周年を迎えて...
トツゲキ!
インタビュー!

喜多米穀店

朝市実行委員長
きた しょういち
喜多 祥一さん

これから出店者数を増やしていきたいと思っていますので、ご興味のある方はぜひ申間市観光物産協会でお申し込みいただきたいです。30年前からのスタイルを守りつつ、道の駅「くしま」も盛り上げていける工夫をこれからもしていきます。



朝市醸造場

申間市観光物産協会
副会長
まつ お さだなお
松尾 定直さん

30年間、いろいろな出店者さんが入れ替わりながら続いてきたこの歴史ある朝市に、市内外のお客さんに来てもらえるよう、新しいことも取り入れながら今後、さらに力を入れていきたいです。たくさんの方に来てもらえる魅力作りや情報発信も頑張っていきます。



広報くしま 平成27年12月号に掲載

令和4年にブランドオープンを迎えた道の駅「くしま」の屋根付きイベント広場で天気に左右されることなく朝市を開催。トイレや駐車場があることで、足を運びやすくなりました。また、7月1日(金)の「七夕夜市」では、甚平や浴衣の来場者に花火、または光るプレスレットのプレゼントが行われ、色とりどりの浴衣を身にまとった姿が多く見られました。商品によっては開始直後に売り切れがでるほどのにぎわいに。



出店者募集中!!

30周年イベントを企画中!
詳しくは新聞チラシや観光物産協会の公式Facebookなどをチェック!!

問い合わせ先
申間市観光物産協会 〒888-0001 宮崎県申間市大字西方5503-1
道の駅「くしま」情報提供施設内 申間市観光物産協会 観光案内所
☎72-0479 FAX:72-1134
●Facebook=https://www.facebook.com/kandb.kushima/

2015



広報くしま 平成11年11月号に掲載

7周年を機に朝市の新しい名前を募集。11月に「くしま朝市よかむん市」に。7月から市文化会館駐車場などで開催され、市内の高校生によるフルートミニコンサートやアフリカン太鼓の演奏など、さまざまなイベントやゲームが開かれました。新鮮な野菜や水産加工品などが市価よりも安く手に入ると、主婦たちの好評を集めました。

よかむん朝市とともに、伊勢海老まつりを開催。新鮮な伊勢海老を1キロ4,500円で販売。また、先着500人限定の伊勢海老のみそ汁は、すぐに整理券がなくなるほどの長蛇の列が。



広報くしま 平成22年10月号に掲載



広報くしま平成23年12月号に掲載



広報くしま 平成23年2月号に掲載

よかむん朝市とともに、初せりを開催。一般の人が無料で参加できるせりを行い、参加者たちはお目当ての新鮮な魚を競り合い。また、鮮魚や伊勢海老などが当たるじゃんけん大会などもあり、大いににぎわいました。

なかんまちとんぢやか市の日にあわせてよかむん朝市も同時開催。会場には市内外の多くの出店が立ち並びさまざまなイベントやふるまひも。

1999

「くしま朝市よかむん市」
平成11年
市文化会館駐車場など

2010

「伊勢海老まつり×くしま朝市よかむん市」
平成22年9月19日
福島港

2011

「初せり×第9回くしま朝市よかむん市」
平成23年1月4日
申間市漁協

「なかんまちとんぢやか市」
平成23年11月20日
仲町商店街

祝! 朝市30周年

30年の歴史を一挙振り返り!

毎月第3日曜日の朝に、串間の「おいしい」が1カ所に集まって開催される「朝市」。長い歴史があり、今月の8月21日(日)になんと30周年を迎えます!そこで今回は、広報くしまを元に、長年皆さんに愛されてきた朝市の歴史を振り返ります!

1992

第1回「くしま朝市」
平成4年8月16日
市役所玄関前広場



広報くしま平成4年9月号に掲載

1993

平成5年市役所玄関前広場



広報くしま平成5年11月号に掲載

10月17日に開催された会場には約600人ほどが集まりました。都井や市木だけでなく、日南や志布志から来て買い物を楽しむ方も。当時、200円のうどんを孫と食べにくるのが楽しみな人、くじで運試しをする人など、回数を重ねるごとに足を運んだ人たちの楽しみ方もさらに広がっていました。毎回25店前後が並び30分程度で売り切れることも。また、この頃から、夏はかき氷、冬はぜんざいの無料ふるまひなどが始まり、この日は甘しょフライのふるまひが行われました。

1996

5周年
平成8年8月18日
市役所玄関前広場



広報くしま平成8年10月号に掲載